

大村秀章愛知県知事インタビュー

「日本一元気な愛知」へと

勢いを加速する二期目にしたい

二〇一五年二月一日、一期目を上回る一六三万票を集めて再当選を果たした大村秀章愛知県知事。引き続きリニアやMRJ、FCVなどものづくり産業を中心とした地域活性化に取り組み、「日本一元気な愛知」、「人が輝く愛知」を目指す大村知事に、一期目の総括と二期目の抱負を聞いた。（聞き手／中部財界フォーラム社代表取締役塚本隆）

——二期目の当選おめでとうございませう。一期目を振り返っての総括をお願いします。

大村 四年間全力で取り組みました。就任した二〇一一年は、東日本大震災や円高、タイの洪水などがあり、大変な年でしたが、こうした厳しいときにこそ前向きな投資をしようと、産業空洞化対策減税基金を原資とした日本一の立地補助制度をあえて円高のときに

設けました。円安に戻った今、企業の設備投資意欲が数字に出ており、一三年の製造品の出荷額は約四二兆円となり、雇用も約四〇〇万人に伸びました。産業・

経済を強くして、特に、若者や女性の働く場をつくることで、愛知に定着し、安心して子育てできるという良い循環を何とか作ることができました。次の四期間でその流れを加速したいと思います。

——MRJやFCV、リニアなどが盛り上がってきました。

大村 日本の一〇年先、二〇年先の命運を握るプロジェクトが愛知から始まっています。航空宇宙産業については、一一年に国際戦略総合特区に指定され、一三年の中部地域における航空機・部品の生産額は約六〇〇億円、名古屋税関管内の航空機類輸送額は約三〇〇億円にも上ります。そういう中でシボル的なプロジェクトが、国産初のジェット旅客機であるMRJです。春頃には初飛行が予定され、その後、本格的に量産化に向けて動き出します。また、航空宇宙産業の更なる振興に向け、人材養成にも取り組んでいます。

きます。

また、昨年十二月には、トヨタの燃料電池自動車（FCV）MIRA Iの販売が開始され、一月二十日には愛知県に全国の自治体ではじめて納車されました。FCVの普及のためには、燃料である水素の安定供給が必要であるため、国とは別に建設費・運用費の補助を行い、全国一の水素ステーションを整備していきたいと思えます。「究極のエコカー」であるFCVは環境に優しい車で、家庭や地域の電源としても利用できます。もっと世界に向けて発信していきたいと思えます。

さらに、東京―名古屋を四〇分で結ぶ究極のイノベーションであ

るリニアも昨年十二月に着工し、本格的にスタートしました。リニア開業でビジネスが東京に流出することはないと思えます。むしろソフト人材を確保できるようになる

分、伸びしろがあるでしょう。一方、エンターテイメントに関しては東京の厚みに敵いません。愛知・名古屋が働くだけの街にならないよう、エキサイティングな街づくりを行いたいですね。

——高齢化の中、医療福祉の充実も重要かと思えます。

大村 最初の四期間で健康福祉に関する予算を五〇〇億円以上増やしました。老朽化していた県立病院や心身障害者センターなどの建て直しも進めており、一五年度中には供用開始予定です。こうした病院や施設の機能の強化を図り、医療・福祉の更なる充実に取り組んでいきたいと思えます。

また、愛知県民の健康寿命は男性が日本一、女性も第三位と非常に良い数字ですので、実績を益々積み重ねていきたいと思えます。

——愛知県、特に三河の地域経済活性化について。

大村 愛知県は人口が増えていく数少ない県です。首都圏の人口増加は人の流入による社会増で、出産による自然増は減少傾向にあります。愛知県は両方が伸びており、昨年は一万二〇〇〇人の増でした。一方、東三河や山間部、半島や島しょ部では人口対策が必要となっており、昨年、東三河人口

問題連絡会議を開催しました。産業を集積するとともに、交流人口も増やし、観光にも力を入れていきたいと思えます。三英傑やなごやめし、城郭や自然といった豊かな観光資源があるので、もっと人に来てもらいたいですね。

——観光客を呼ぶには、セントレアの二本目滑走路が必要だと思えます。

大村 その通りです。二月十七日にセントレアは開港二〇周年を迎え、私も記念式典に出席しました。愛知万博の年の開港式典には国会議員として出席していたので、感慨も一入でした。

セントレアはリーマンショックを境に利用者数が減り、一一年に九〇〇万人を切りました。一三〜一四年には一千万人近くまで回復しましたが、ピーク時にはまだ及びません。愛知県は陸上交通網が発達していますので、その利便性が却って航空旅客需要を減らしている面もあります。これを増やすためには、やはり観光だと思えます。日本を訪れる外国人観光客は

一五〇〇万人を超えようと思えますが、東京―大阪を結ぶゴールデンルートで名古屋は素通りに近い状態です。他方でアジアを中心として訪日リピーターは多く、こうした方々に、愛知、セントレアを拠点として、東海北陸をまたぐ昇龍道をまわってもらおうよう、大いにPRしていきたいと思えます。観光を盛り上げていくとともに、二本目滑走路の早期実現にもしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

——二期目に予定している具体的なイベント等があれば教えてください。

大村 今年九月〜十一月には万博一〇周年を記念して愛・地球博記念公園で「全国都市緑化あいちフェア」花と緑の夢あいち」を開催します。ぜひ、多くの方にお越しください。また、多くの方に一六年度夏〜秋にはあいちトリエンナーレ、国民文化祭、障害者芸術・文化祭と芸術のビッグイベントが続きますので、アートの年にしていきたいと思えます。ご期待ください。

